

2020年12月1日

シリコンゴムフィルム《珪樹™》高耐熱グレードの開発について ～高耐熱プレスクッション材のご紹介～

三菱ケミカル株式会社

三菱ケミカル株式会社（本社：東京都千代田区、社長：和賀 昌之、以下「当社」）は、シリコンゴムフィルム《珪樹™》について、従来グレードよりも耐熱性を高めた新グレードを開発いたしました。本年12月2日から4日にかけて幕張メッセで開催される「高機能フィルム展」にて、正式にお客様にご紹介する予定です。

《珪樹™》は、当社独自の加工技術により生まれたフィルム状のシリコンゴムで、薄膜かつ膜厚精度が高いという特徴を有します。加えてポリエステルフィルムをはじめ異種材料との積層や表面加工が可能であり、産業機器向け部材や工程部材として長年にわたりお客様に評価いただいております。

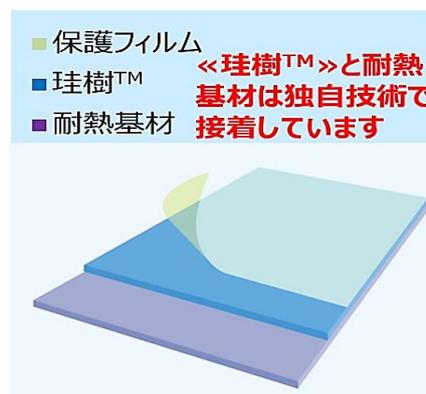
今回開発した高耐熱グレードは、近年の各種電子機器の小型集積化や熱マネジメントの要求に伴い、高温プロセスを検討されているお客様のニーズに対応した新グレードです。耐熱性を高めたシリコンゴムと耐熱基材の2層構造であり、総厚50～500μmの極薄ながら300℃環境下で繰り返し使用することができます。シリコンゴムの特徴である緩衝性、離型性は活かしつつ、耐熱基材を有することにより、ハンドリング性の向上や応力下の横ずれ防止効果が期待でき、従来グレード同様にお客様のご要望に応じて厚さやゴム硬度の調整も対応可能です。

当社は今後も、ますます多様化・高度化するお客様のニーズに応じるべく、シリコンゴムフィルム《珪樹™》の研究開発を一層推進し、ラインナップの拡充に努めてまいります。

以上

高耐熱グレードの層構成

* 実際の色は本構成図と異なります



お問合せ先

株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室

TEL 03-6748-7140